

# 济生会川俣病院

SAISEIKAI KAWAMATA HOSPITAL



## [基本理念]

- やさしさといたわりのある医療
- 開かれた地域医療のための病院

## 恩賜財団 済生会小史

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣 桂 太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を弘めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日、済生会を創立した。

以来今日まで110年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同年27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下

理事長 炭谷 茂

本部=東京 支部=40都道府県

病院	81	障害者福祉施設	9
診療所	18	看護師養成施設	7
介護医療院	1	訪問看護ステーション	62
介護老人保健施設	29	地域包括支援センター	30
救護施設	1	地域生活定着支援センター	5
老人福祉施設	122	その他	9
児童福祉施設	25	合計	399

職員数は全国で約64,000人。

(令和3年4月1日現在)



# 明るくゆとりある院内



●中央待合ホール



●外来待合ホール



●外来診察室



●CT室



●X線テレビ室



●検査室



●眼科診察室



●手術室



●救急処置室



●病室



●ダイニング



●会議室



●売店



●機能訓練室



●透析室



●健診控室



●配膳車

### 地域の基幹病院としての活動



●災害時救急活動

### 併設施設について



#### 川俣町地域包括支援センター

川俣町からの委託を受け、川俣町民を対象に運営しております。センターは看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種で、高齢者の方の様々なご相談、権利擁護の支援、要支援者の介護保険の介護支援専門員（ケアマネジャー）としての支援等、様々な方面から皆さんを支えられる地域づくりを行っています。

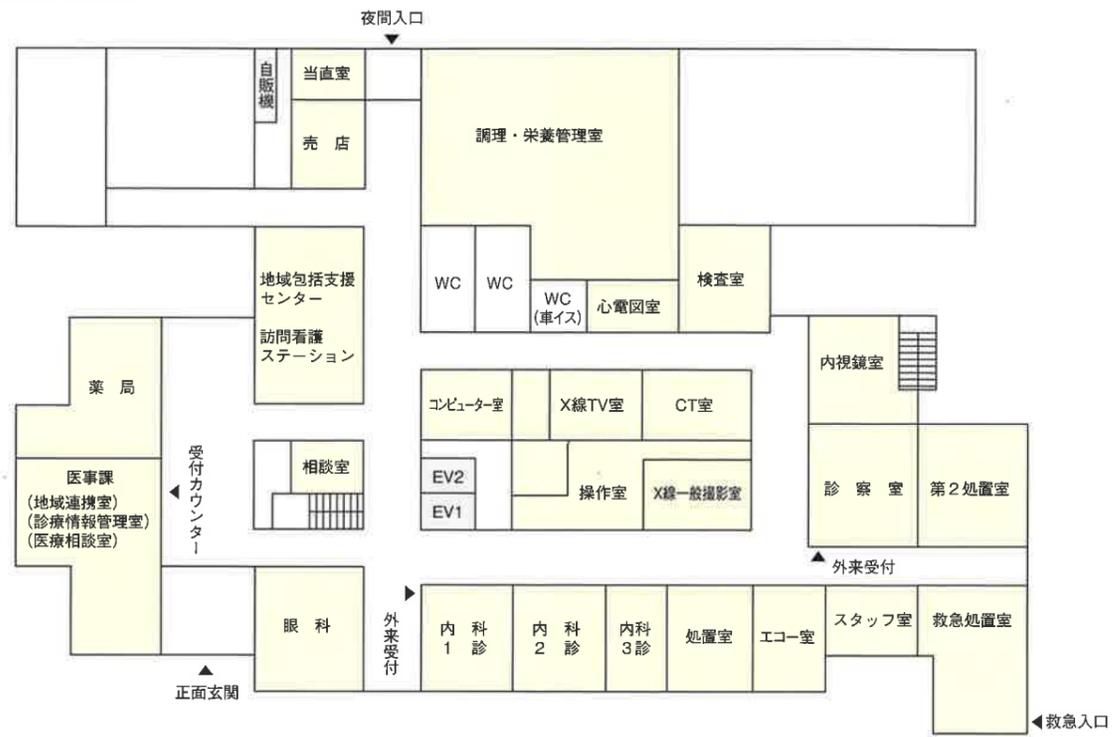


#### 済生会川俣訪問看護ステーション

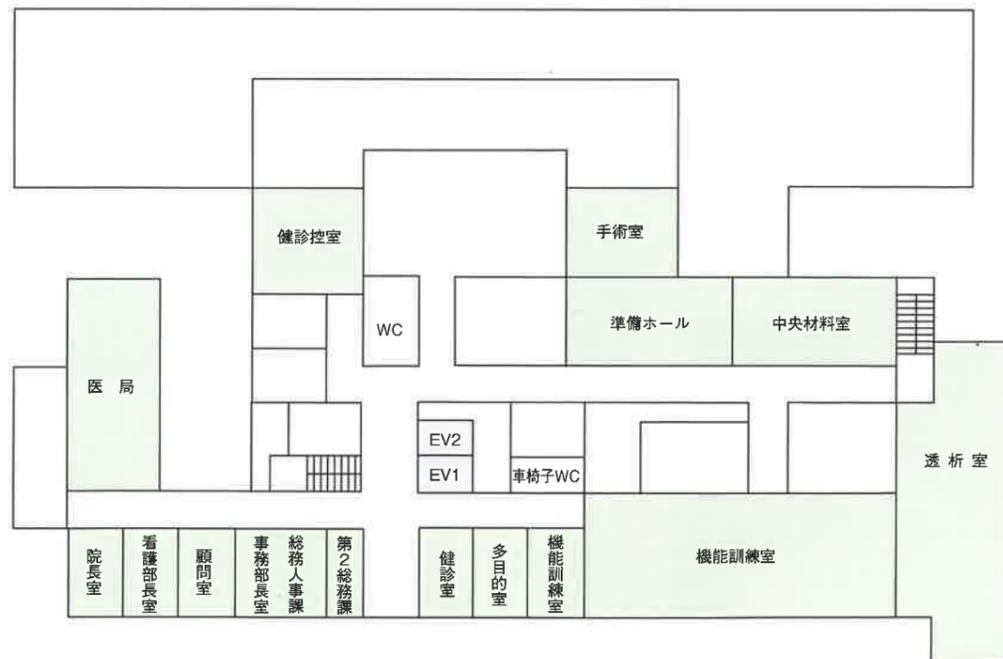
看護師がかりつけ医師の指示に基づいて、病状が安定して在宅で療養されている方の家庭を定期的に訪問し、医療上のケアを行います。利用者様の安心を第一に考え、24時間いつでも対応いたします。

●各階平面図

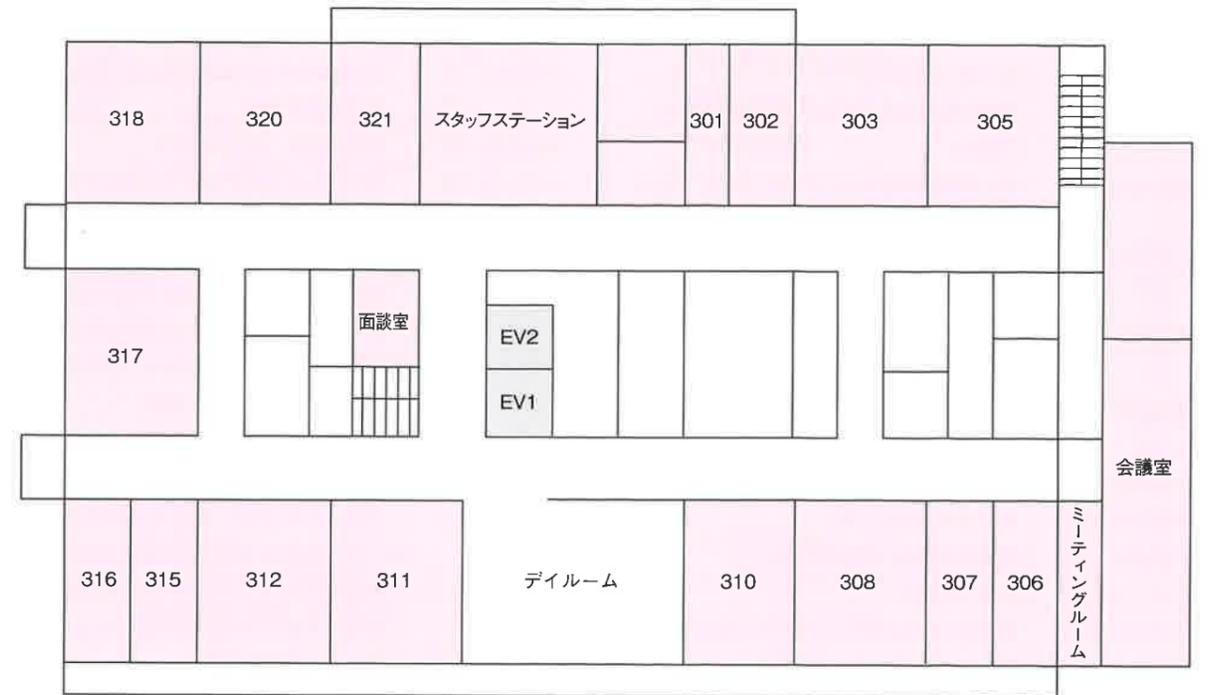
1 階



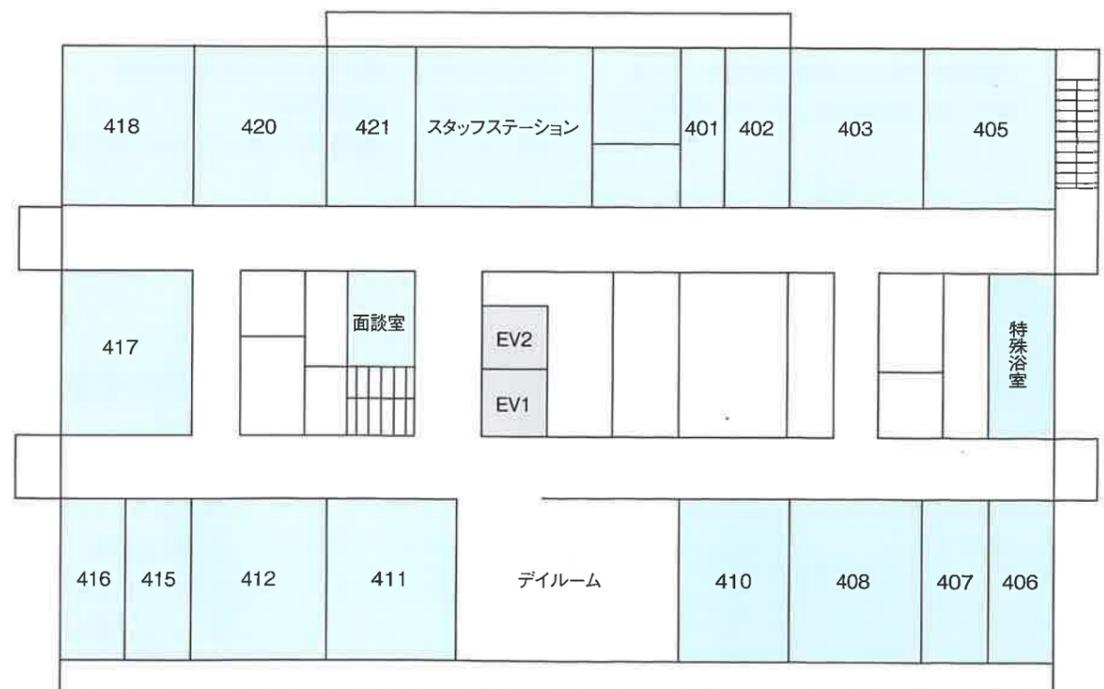
2 階



3 階



4 階



## 済生会川俣病院の沿革

昭和18年 3月	日本医療団川俣病院として川俣町七窪地区に開設 (75床)	// 8月	一般90床 (内、障害者施設等病棟45床)
昭和24年 7月	日本医療団の解散に伴い福島県が継承、県立川俣病院となる	// 9月	山木屋診療所を指定管理者として運営
昭和35年11月	川俣町七窪地区より鶴沢地区へ移転新築 (100床)	// 12月	人工透析室開設 (15床)
昭和45年 3月	県立病院整備審議会の答申によって済生会への移管を決定、同時に県立病院を廃止	平成19年 4月	政府管掌健康保険生活習慣病予防健診施設指定
昭和45年 4月	社会福祉法人済生会川俣病院として発足 (内科・外科・整形外科・小児科)	// 5月	地域連携室開設
昭和55年 4月	創立10周年	平成22年 4月	皮膚科開設、創立40周年
// 4月	医事会計用コンピューター導入	平成23年 4月	協会けんぽ生活習慣病予防健診施設
昭和62年 1月	胃腸科開設	// 4月	福島地方広域行政事務組合の解散に伴い、養護老人ホーム済生会川俣光風園として発足
// 7月	本館全面改修工事、全館冷房設備工事	// 5月	済生会春日診療所・介護老人保健施設めがみ・特別養護老人ホームはなづか・通所リハビリテーションめがみを「医療福祉施設なでしこ川俣」として開設
平成2年 4月	創立20周年	// 6月	福島第一原子力発電所事故により山木屋診療所休止
平成5年 7月	第2次本館改修工事	平成24年 4月	済生会川俣病院・医療福祉施設なでしこ川俣・養護老人ホーム済生会川俣光風園の運営を統轄する機関として「済生会川俣地域ケアセンター」を設置
平成6年 4月	医薬分業実施 (院外処方箋発行)	平成24年10月	済生会川俣訪問看護ステーションを開設
平成7年 5月	訪問看護開始	平成25年 7月	泌尿器科休止
平成11年10月	隣接地へ移転新築 (一般45床・療養45床) 眼科開設 救急告示病院認定	平成26年 9月	地域包括ケア病床27床 一般63床 (内、障害者施設等病棟45床)
平成12年 3月	川俣町から委託を受け在宅介護支援センターを運営	平成27年 4月	泌尿器科再開
// 4月	創立30周年 在宅介護支援事業所を開設	平成27年11月	地域包括ケア病棟45床 障害者施設等病棟45床
平成13年 1月	後遺障害認定委囑病院指定	平成28年10月	山木屋診療所を指定管理者として運営再開
平成17年11月	泌尿器科開設・小児科廃止	平成30年11月	電子カルテシステム運用開始
平成18年 4月	介護保険法改正により在宅介護支援センターを廃止、地域包括支援センターとして運営	令和2年 4月	創立50周年
		令和2年10月	透析支援システム「Future Net」運用開始



### 「撫子の歌」

露にふす 末野の小草  
いかにぞと  
あさ夕かかる  
わがころかな

初代総裁・伏見宮貞愛親王が創立当時、「撫子の歌」を済生会の事業によせられたのにちなみ、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが大正元年(1912)より済生会の紋章として用いています。

## ● 施設概要

- 所在地/福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2番地4
- 病院の特徴/公的医療機関・救急告示病院
- 建築構造/地上4階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積/6,716㎡
- 延床面積/5,519㎡
- 診療科目/内科・循環器科・リウマチ科・糖尿内科・外科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科
- 病床数/3階 地域包括ケア病棟 45床  
4階 一般(障害者施設等) 45床
- 病室構成/個室10室・2人室4室・4人室18室
- 主な医療機器/X線テレビシステム  
X線コンピューター断層診断装置(CTスキャナ)  
超音波診断装置  
内視鏡検査システム  
超音波白内障手術装置  
手術顕微鏡  
光凝固装置  
人工透析装置(15台)  
順送式入浴装置

## ● 研修協力

- 卒後臨床研修協力病院
- 福島県立医科大学臨床実習協力病院
- 総合診療専門研修プログラム協力病院

## ● 施設基準

- 地域包括ケア病棟入院料 1
- 障害者施設等入院基本料 13対1
- 診療録管理体制加算2
- 医師事務作業補助体制加算1
- 特殊疾患入院施設管理加算
- 看護補助加算 50対1
- 療養環境加算
- 医療安全対策加算2
- 医療安全対策地域連携加算2
- 後発医薬品使用体制加算1
- データ提出加算1
- 認知症ケア加算3
- 入院時食事療養/生活療養(1)
- 糖尿病合併症管理料
- ニコチン依存症管理料
- がん治療連携指導料
- 薬剤管理指導料
- 検体検査管理加算(Ⅱ)
- CT撮影及びMRI撮影
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
- 人工腎臓 1
- 導入期加算1
- 透析液水質確保加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算



# 愛と希望の済生会



SAISEIKAI KAWAMATA HOSPITAL



公共交通機関	タクシー：福島駅東口より30分 JRバス：福島駅東口発川俣高校前行川俣町役場下車徒歩5分
駐車場のご案内	自家用車でお越しの方は、病院北側駐車場または、けんこう薬局隣の駐車場をご利用ください。



社会福祉法人 済生会 済生会支部福島県済生会  
済生会川俣病院

〒960-1406 福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2番地4 (川俣町地域包括支援センター)  
TEL (024) 566-2323 (代表) TEL (024) 538-2600  
FAX (024) 566-2325 FAX (024) 538-2601